

平成24年度事業評価シート

事業名	11100	議員活動事業	担当課	議事事務局		内線	
	枝番					2512	
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	7	構想の着実な推進をめざして
	款	1	議会費		分野	2	行財政運営
	項	1	議会費		基本施策	1	簡素で効率的な行政運営を行う
	目	1	議会費		施策	2	行政能力の向上
根拠計画							
実施計画事業		議会運営事業					
市長公約							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,861 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	<ul style="list-style-type: none"> 市民の声を市政に反映させるために市民と情報や課題を共有することにより、わかりやすい開かれた議会運営がなされている 行政の執行が適正に行われるように監視機能を十全に発揮している 責任ある決定を行うために合意形成を目指して活発な議員間討議が行われている 市の政策水準の向上を図るために積極的に政策提言が行われている 		
概要	事業の実施手法(手段)	<ul style="list-style-type: none"> 議会広報紙、議会ホームページ等で情報を積極的に公開するとともに、市民意見交換会を開催して市民意見を把握する 議決事件を追加したり、市長等に対し論点情報や事業評価等の資料提供を求める 本会議、委員会、政策討論会において議員間討議を行う 委員会を中心として積極的に政策提言を行う 		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H23の実績		<ul style="list-style-type: none"> 予算決算審査のCATVや議会ホームページでの中継及び、一般質問において一問一答方式を導入し、市民にとってわかりやすい議会運営に努めた。 委員会審査において、議員間討議を導入した。 委員会は市民意見交換会や政策討論会等を活用して政策提言(案)を取りまとめた。 				
	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24
	活動指標	市民意見交換会の開催回数	回	目標値	38	28	28
		実績値	38	28	-		
	算出根拠等	地域別(20地区)分野別(4委員会×2)	達成率(%)	100	100	-	
	活動指標	質疑、一般質問を行った議員数(延べ回数)	回	目標値	80	55	55
		実績値	77	66	-		
	算出根拠等	(議員定数-3)×4回×65%	達成率(%)	96	120	-	
	活動指標	常任委員会の開催日数	日	目標値	48	52	56
		実績値	40	58	-		
	算出根拠等	4常任委員会×12ヶ月+α	達成率(%)	83	112	-	
	成果指標	市民意見交換会の参加者数	人	目標値	1,140	640	640
		実績値	1,553	610	-		
	算出根拠等	地域別意見交換会×30人+分野別意見交換会×5	達成率(%)	136	95	-	
	成果指標	議会(本会議)の傍聴者数	人	目標値	400	400	400
実績値		407	255	-			
算出根拠等		達成率(%)	102	64	-		
成果指標	常任委員会による政策提言数	件	目標値	4	4	4	
	実績値	2	1	-			
算出根拠等	4常任委員会×1	達成率(%)	50	25	-		
補足事項							
<ul style="list-style-type: none"> 市民意見交換会は、地域別と分野別があり、地域別は市内20地区(小学校区別)に実施、分野別意見交換会は、テーマに沿った課題に関係する団体等との意見交換会で、必要に応じ随時実施している。なおH22年は地域別意見交換会を2回実施したため、参加者が多い。 							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額		
	歳出(千円)		(A)	12,434	15,722	25,118	
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)		0	0	0	
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)		0	0	0	
	一般財源		12,434	15,722	25,118		
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	133	168	270	
	受益者	市民	(B)	93,822	93,312	92,861	

3 分析・評価(Check) ※平成23年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)	
① 市民ニーズの確認	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか 社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか 	A (2) ニーズが高い	B	<ul style="list-style-type: none"> 市民意見交換会の参加者は、導入当初と比較し減少傾向にあるが、平成23年度についても500人を超える参加者があり、ニーズはある。 	
		B (1) ある程度のニーズがある			
		C (0) ニーズが低い			
② 市が実施する必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市が事業主体であることは妥当か 国・県・民間の活動と競合していないか 	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	<ul style="list-style-type: none"> 市(議会)が実施する事業であり、他の機関では実施できない。 	
		B (1) 一部見直しが必要である			
		C (0) 市が実施する必要性が低い			
③ 活動内容の有効性	<ul style="list-style-type: none"> 目的とする成果があがっているか 成果指標などの目標値の達成状況はどうか 	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	B	<ul style="list-style-type: none"> 市民意見交換会、一般質問の実施回数、常任委員会の開催などは目標値を超えているが、傍聴に関する広報活動や政策提言については改善を要する。 	
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている			
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である			
④ 執行方法の効率性	<ul style="list-style-type: none"> 最小限のコストで事業を実施できているか 委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか 国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか 受益者負担は適正か 	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	<ul style="list-style-type: none"> 行政視察時にバス利用を促進するなど、経費削減に努めた。 	
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている			
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である			
⑤ 政策面における効果	<ul style="list-style-type: none"> 事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか 総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか 市長公約の実現を図る上で有効に機能したか 	A (2) 効果があった	B	<ul style="list-style-type: none"> 本事業は、より良い政策を実現するための事業であり、市の政策水準の向上をめざす政策提言にも結びついている。 	
		B (1) ある程度効果があった			
		C (0) あまり効果が見られなかった			
合計		6 / 10	→	100点換算	60 点

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)	<ul style="list-style-type: none"> 監視機能、議員間討議、政策提言を充実させるため、制度や実務の改善を進める。 議会傍聴者や地域別意見交換会の参加者数が減少しており、内容及び広報戦略の見直しが必要となっている。
---------------------------------------	--

(参考) H23事業評価結果(二次評価)	「より良い政策を実現する」を本旨とした議会基本条例に基づく議会運営を実現するため、制度や実務の改善を進める必要がある。
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 政策提言の実施時期の変更(秋から次年度の春へ) 議案の審議審査方法の見直し(質疑と一般質問の分離等) 市民意見交換会の内容の見直し(議会報告中心からテーマ設定による議論中心へ) 議会傍聴促進活動の実施
-----------------	---

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	H24完了予定
	<ul style="list-style-type: none"> 情報公開の更なる推進、審議・審査の充実、政策提言の内容及び質の向上、及び議会の運営体制の効率化を図る。 				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	H24完了予定
	(担当課評価に同じ)				

平成24年度事業評価シート

事業名	11105	議会関係事務費	担当課	議会事務局		内線	
	枝番					2512	
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	7	構想の着実な推進をめざして
	款	1	議会費		分野	2	行財政運営
	項	1	議会費		基本施策	1	簡素で効率的な行政運営を行う
	目	1	議会費		施策	2	行政能力の向上
根拠計画							
実施計画事業		議会運営事業					
市長公約		11	多様な媒体を利用して行政情報の公表、公開、情報公開日本一を目指します ・議会の開催状況をリアルタイムに公開できるよう、議会と相談します				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	92,861 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・市民に対し議会の情報が十分に提供され、わかりやすく開かれた議会運営が行われている ・議会のより深い審議・審査、積極的な政策提言や政策立案が十分にサポートできている		
概要	事業の実施手法(手段)	・本会議及び委員会会議録のインターネット公開(会議録検索システム) ・本会議、委員会等のインターネット、CATVでの中継 ・各種議長会、議会運営に関する研修会への参加		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H23の実績		・議会ホームページ及びCATVの中継会議件数(5月臨時会 1日、6月定例会 5日、9月定例会 4日、12月定例会 4日、3月定例会 5日) ・H23新規として(9月予算決算特別委員会 3日、3月予算特別 3日、政策討論会 3日)				
	指標名		単位	目標・実績	H22	H23	H24
	活動指標	会議録検索システムへの登録会議数	件	目標値	120	120	120
				実績値	111	89	-
	算出根拠等	本会議、委員会の会議日数		達成率(%)	93	74	-
	活動指標	議会ホームページおよびCATVでの中継会議日数	日	目標値	23	30	34
				実績値	24	28	-
	算出根拠等	本会議、委員会の中継会議日数		達成率(%)	104	93	-
	活動指標	各種議長会・議会運営に関する研修会への参加数	件	目標値	15	15	15
				実績値	13	15	-
	算出根拠等			達成率(%)	87	100	-
	成果指標	年間会議録検索システムへのアクセス件数	件	目標値		4,500	4,700
実績値					4,613	-	
算出根拠等			達成率(%)		103	-	
成果指標	年間議会ホームページへのアクセス件数(職員除く)	件	目標値	12,500	13,000	13,500	
			実績値	12,799	13,457	-	
算出根拠等			達成率(%)	102	104	-	
成果指標	委員会による政策提言及び政策立案件数(意見書含む)	件	目標値	4	4	4	
			実績値	2	2	-	
算出根拠等			達成率(%)	50	50	-	
補足事項							
・CATVの中継については、視聴率等を計測する方法がないため成果指標に掲載出来ないが、手軽に視聴できることやインターネットを利用しない市民向けには必要な広報媒体と考える。							
コスト面	事業費(人件費を除き繰越・補正を含む)		H22 決算額	H23 決算額	H24 予算額		
	歳出(千円)		(A)	4,392	5,984	7,970	
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)					
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)					
	一般財源		4,392	5,984	7,970		
コスト指標	受益者1件当たり(円)		(A/B)	47	64	86	
	受益者	市民	(B)	93,822	93,312	92,861	

3 分析・評価(Check) ※平成23年度の実績を評価

評価項目	評価観点	評価基準	評価	評価内容の説明(評価の理由等)	
① 市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2) ニーズが高い	B	・議会や委員会を映像配信することは、市域が広い高山市においては広報手段として必要であり、議会ホームページや会議録にも相当数のアクセス数があることから、ニーズはある。	
		B (1) ある程度のニーズがある			
		C (0) ニーズが低い			
② 市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2) 事業主体を見直す余地はない	A	・市(議会)が実施する事業であり、他の機関では実施できない。	
		B (1) 一部見直しが必要である			
		C (0) 市が実施する必要性が低い			
③ 活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2) 目的とする成果が十分にあがっている	B	・議会ホームページを閲覧する回数は増加傾向を示しており、インターネットを利用したの情報公開は有効である	
		B (1) 目的とする成果がある程度あがっている			
		C (0) 目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である			
④ 執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2) 事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・会議録の校正事務を見直し事務の効率化を図った。	
		B (1) 事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている			
		C (0) 効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である			
⑤ 政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2) 効果があった	A	・議会の会議情報の提供が進み、市民参画の推進にも寄与している。また市長公約にも合致している。	
		B (1) ある程度効果があった			
		C (0) あまり効果が見られなかった			
合計		7 / 10	→	100点換算	70 点

分析・評価で明らかになった課題(「A」評価にするために何が必要なかを記入)	・議会基本条例に則した情報公開の推進(常任委員会審査、政務調査費支出状況、視察報告書)
---------------------------------------	---

(参考) H23事業評価結果(二次評価)	・事務経費の削減に取り組む必要がある。
----------------------	---------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・常任委員会における審査状況の議会ホームページ及びCATVでの中継を実施。 ・政務調査費の支出状況及び視察報告書の議会ホームページへの掲載。
-----------------	---

次年度の実施方針(担当課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	H24完了予定
	・全員協議会等の会議情報提供の推進、及び議会活動のサポート体制の充実				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	○ 維持・改善	○ 拡大	○ 縮小	○ 廃止の検討	H24完了予定
	(担当課評価に同じ)				